

新しい生活様式における適切な健診実施と受診に向けた研究
分担研究報告書

オンライン健診とオンライン診療との連携の調査

研究分担者：原 聖吾 株式会社 MICIN CEO

研究協力者：森田和仁 株式会社 MICIN Public Affairs

研究要旨：本研究では、オンライン健診とオンライン診療との連携可能性について検討した。オンライン診療自体は慢性疾患等の治療の継続性を向上させ、疾患管理に有効であり、オンライン診療自体そのもののメリットとしては医師・患者双方とも患者の負担の軽減や、感染症対策に有効という調査結果が出た。一方で、オンライン診療では対面と異なり手技がないため、不安を感じる方も一定いる。これらの調査結果はオンライン診療に関するものであるが、オンライン健診とオンライン診療では、健診・診療を受ける方の性質は異なるものの、できることとできないことがほぼ類似しているものと考えられ、この結果はオンライン健診にも一定当てはめられるものと考えられる。

A. 研究目的

オンライン健診とオンライン診療との連携可能性について調査を行うことを目的とした。

B. 研究方法

株式会社 MICIN が過去携わってきた調査に関連する事項を抽出し、分析を行う。

（倫理面への配慮）

調査は WEB で行い、調査対象者が特定されない、かつ、倫理に触れる項目について調査は行わなかったことから、倫理面の問題はない。

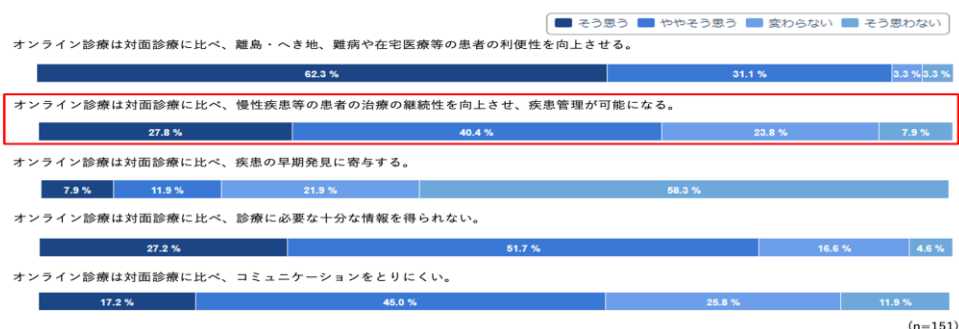
C. 結果

1. オンライン診療に関する医師調査結果

（日本遠隔医療医学会・皮膚科遠隔医療分科会）

（1）オンライン診療の質

オンライン診療の質として「オンライン診療は対面診療に比べ、慢性疾患等の患者の治療の継続性を向上させ、疾患管理が可能になる」について「そう思う」「ややそう思う」を約 68%が選択。

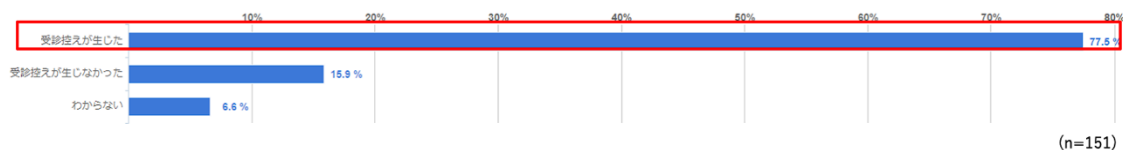


(n=151)

1. 令和2年度（2020年）健診受診状況

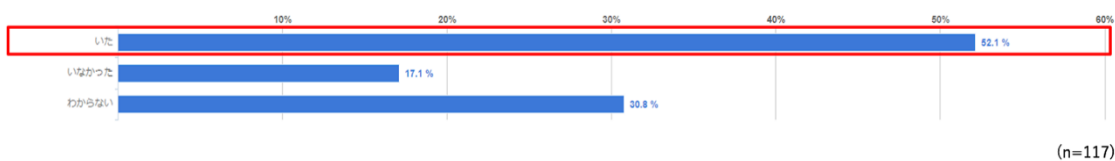
(2) 受診控えの発生

新型コロナウイルス感染症蔓延後の医療機関に通院する患者の受診控えについて、約78%が生じたと回答。



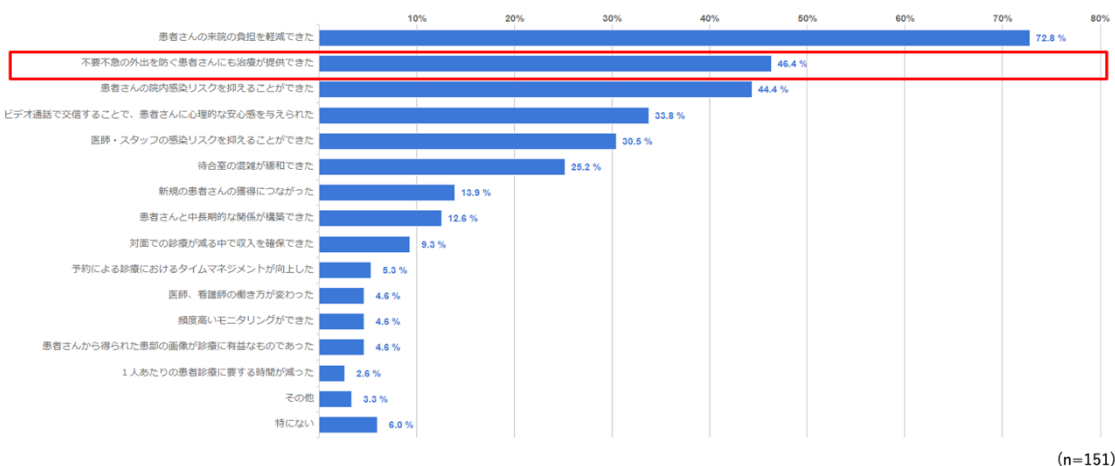
(3) 受診控えによる影響

受診控えが生じた結果、治療中の疾患の重症化等の発生について、約52%が「いた」と回答。



(4) オンライン診療メリット

オンライン診療を実施してよかったことについて、「来院の負担軽減」を約73%が選択、「不要普及の外出を防ぐ」「院内感染リスクを抑える」をそれぞれ約46%、約44%が選択。



(参考)

調査手法：Web 調査（MICIN 社のオンライン診療システム「curon」を導入している医療機関に所属している医師へのアンケート）

調査期間：2021年6月2日～6月30日

対象者：MICIN 社のオンライン診療システム「curon」を導入している医療機関に所属している医師のうち、直近1年以内に3回以上オンライン診療を行っている医師

有効回答数：151人

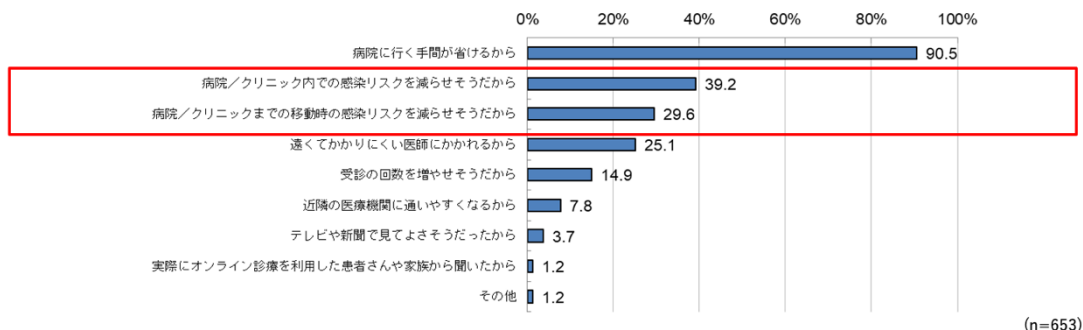
掲載場所：

http://j-telemed-s.jp/subcommittee/sig_teledermatology/pdf/20210921.pdf

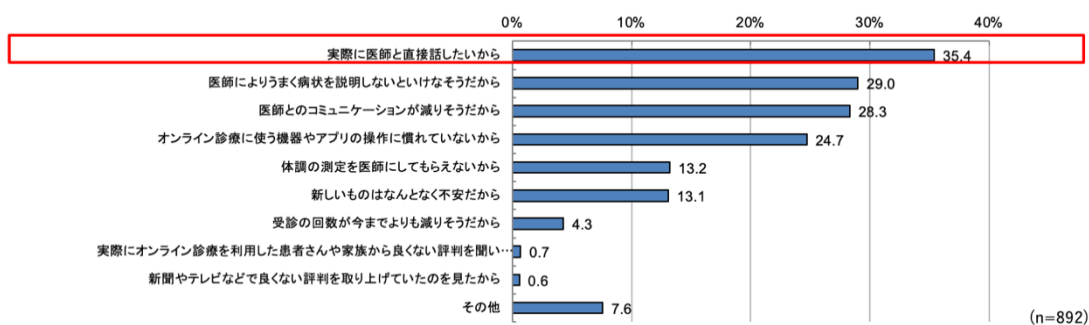
2. オンライン診療に関する患者調査結果

(1) オンライン診療への期待

オンライン診療を利用してみたいと思う理由（あるいは期待できそうなこと）として、「手間を省ける」を約 91%が選択。「院内での感染リスクが減る」「病院等への移動時の感染リスクが減る」をそれぞれ約 39%、約 30%が選択。

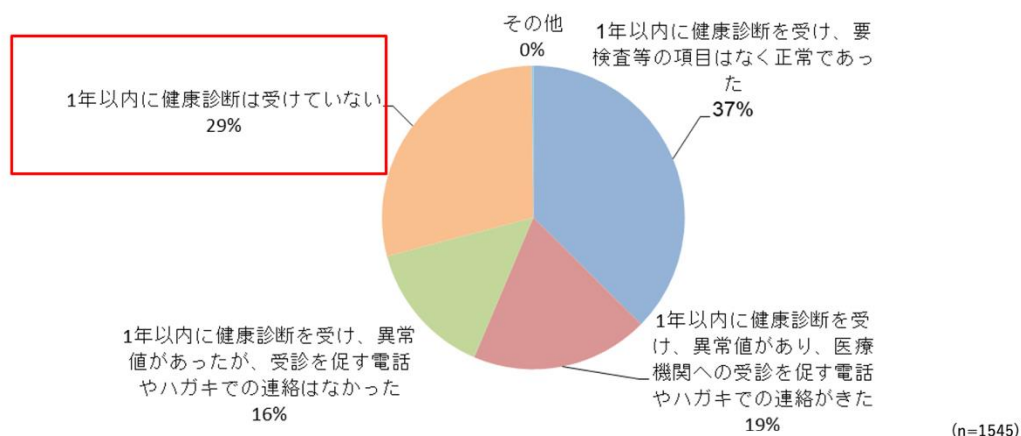


「オンライン診療」を利用してみたいと思わない理由（あるいは不安なこと）として、「実際に医師と話したい」を約 35%が選択。



(2) 健康診断の受診状況

直近 1 年間の健康診断の受診状況（2021 年 1 月時点）について、「1 年以内に健康診断は受けていない」を約 30%が選択。



(参考)

調査手法：Web 調査（マクロミルケアネットに登録したモニターへのアンケート）

調査期間：2021年1月27日～1月28日

対象者：マクロミルケアネットのモニターである全国の20歳～60歳の男女で、未病の方・現在通院していない方（既往歴（精神科または心療内科、皮膚科、内科・慢性疾患））

有効回答数：1545人

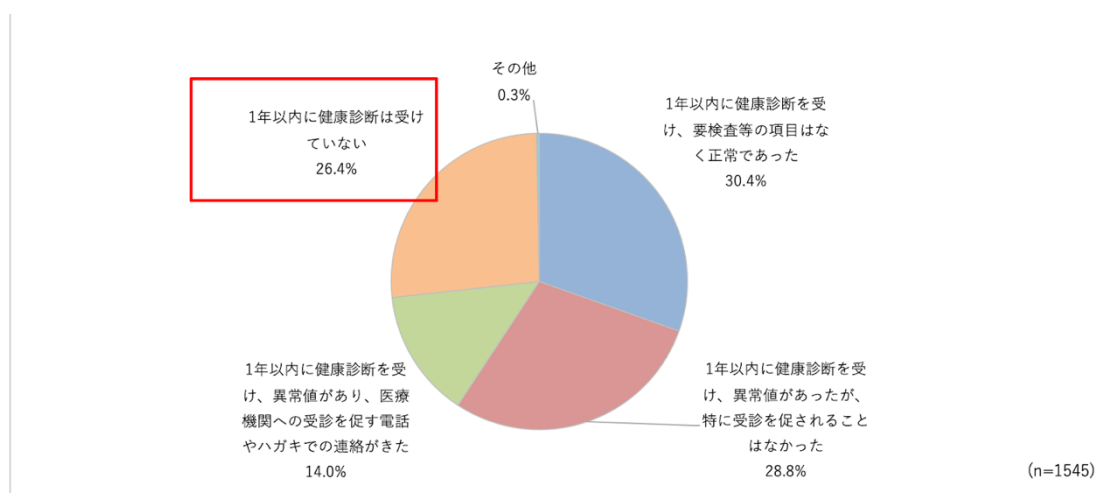
掲載場所：公表なし。MICIN 社提供

3. 子育て・就労世代の医療・ヘルスケアに関する意識調査

（日本遠隔医療医学会・皮膚科遠隔医療分科会）

（1）健康診断の受診状況

直近1年間の健康診断の受診状況（2019年9月時点）について、「1年以内に健康診断は受けていない」を約26%が選択。



(参考)

調査手法：Web 調査（マクロミルケアネットに登録したモニターへのアンケート）

調査期間：2019年9月26日～9月27日

対象者：マクロミルケアネットのモニターである全国の20歳～65歳の男女で、30の疾患に、健診等で指摘を受けたか、現在外来通院しているか、1年以内に外来通院した者

有効回答数：1545人

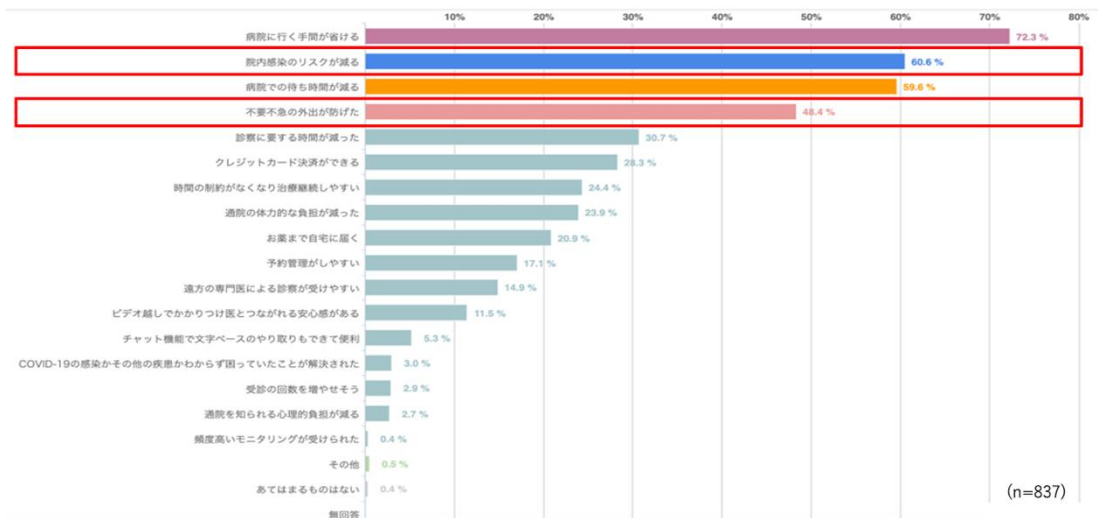
掲載場所：

http://j-telemed-s.jp/subcommittee/sig_teledermatology/pdf/20191225.pdf

4. オンライン診療に関する患者向け調査結果

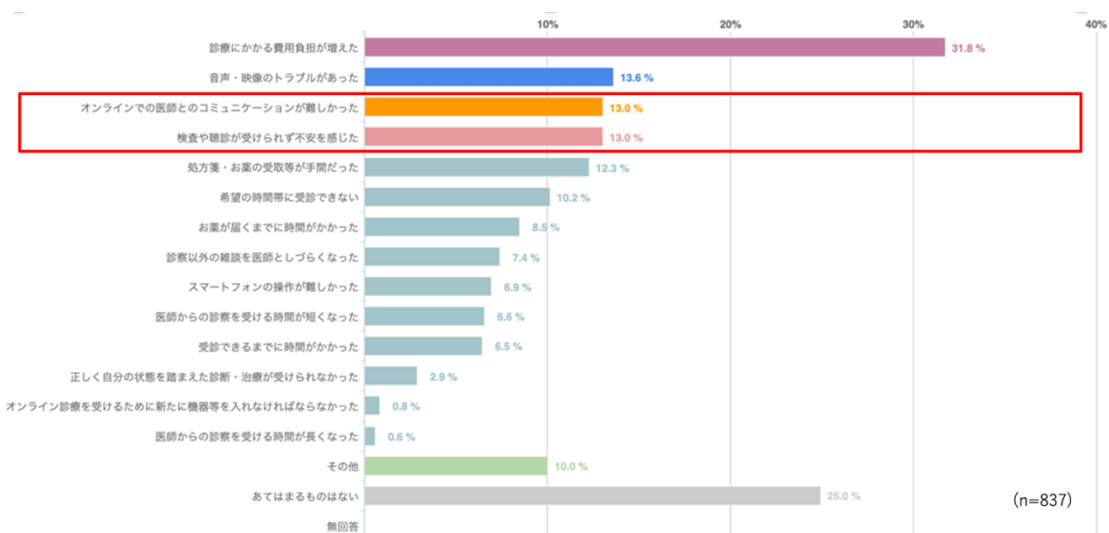
（1）オンライン診療のメリット

対面診療と比較して感じた、オンライン診療のメリットとして、「病院に行く手間が省ける」を約72%が選択。「院内感染のリスクが減る」「不要不急の外出が防げた」をそれぞれ約61%、約48%が選択。



(2) オンライン診療のデメリット

対面診療と比較して感じた、オンライン診療のデメリットとして、「診療にかかる費用負担が増えた」を約32%が選択。「オンラインでの医師とのコミュニケーションが難しかった」「検査や聴診が受けられず不安を感じた」をそれぞれ約13%が選択。



(参考)

調査手法：Web 調査（MICIN 社のオンライン診療システム「curon」を利用した患者へのアンケート）

調査期間：2020年7月29日～8月2日

対象者：全国でMICIN社のオンライン診療システム「curon」で2020年3月～6月の間に1回以上決済を実施した患者

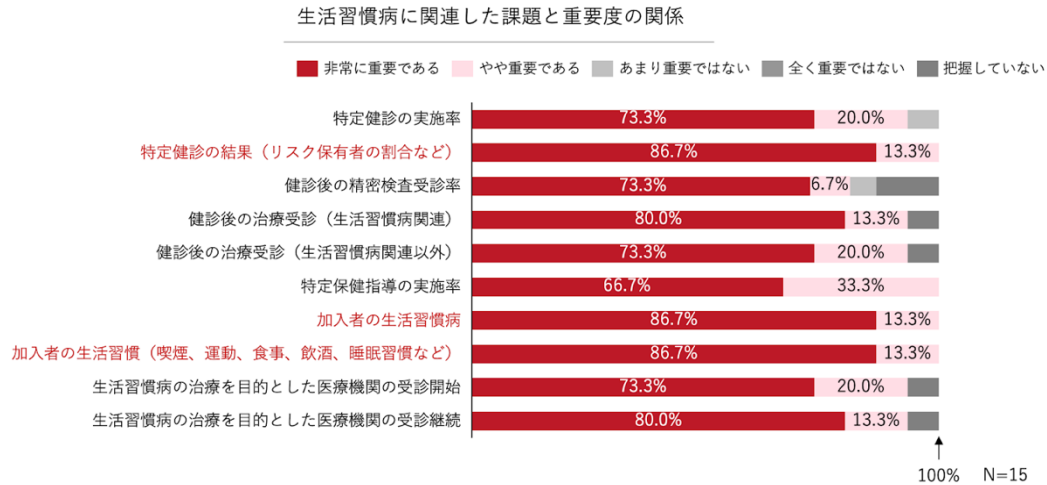
有効回答数：873人

掲載場所：公表なし。MICIN社提供

5. 健康保険組合対象オンライン診療に関するアンケート調査結果

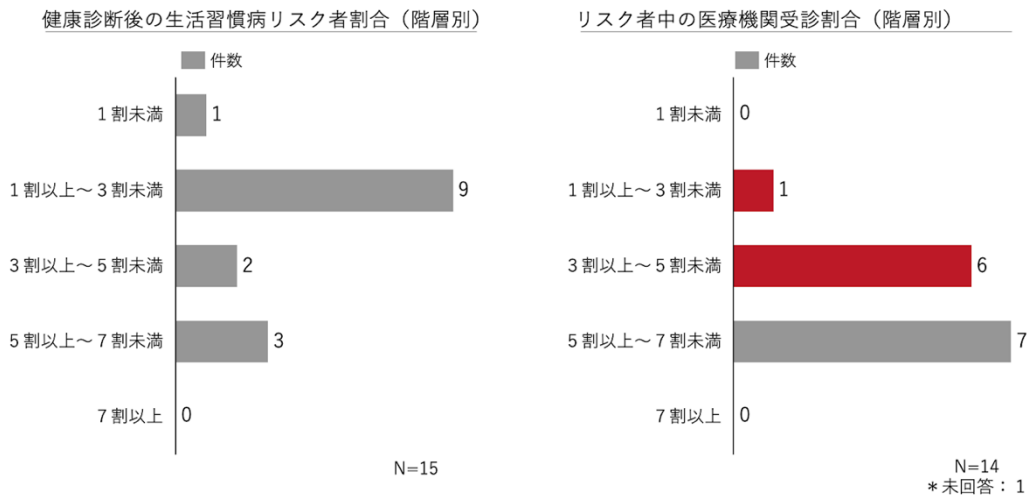
(1) 課題意識

下記の課題において、「特定健診の結果」「加入者の生活習慣病」「加入者の生活習慣」をそれぞれ約 87%が選択。



(2) 健康診断結果による生活習慣病のリスクの判明

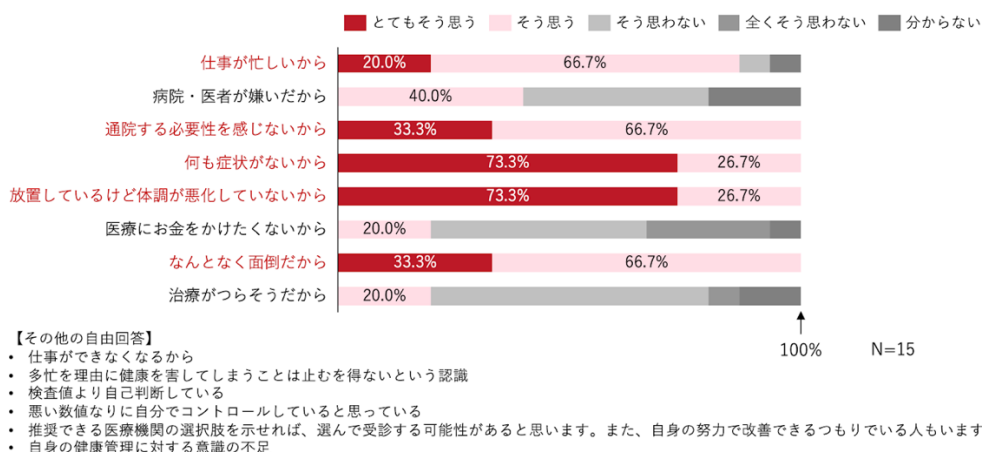
健康診断結果により、生活習慣病のリスクがある（要精密検査・要受診・要医療）と判定される方の割合は1割以上～3割程度を6割が選択。これらの方のうち、5割以上～7割未満が実際に医療機関を受診すると約半数が回答。



(3) 医療機関を受診しない理由

リスク者が医療機関を受診しない理由として、「何も症状がないから」「放置しているけど体調が悪化していないから」をそれぞれ約 73%が選択。

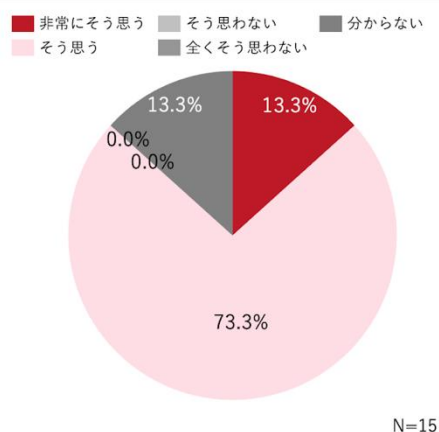
リスク者が医療機関受診しない理由



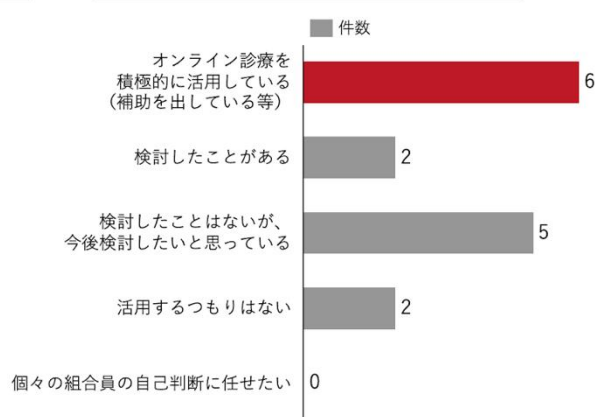
(4) オンライン診療への活用意向

「オンライン診療」を用いることにより、治療を開始する人や継続する人が増えると思う人は、約 87%。健保組合におけるオンライン診療の活用について、4 割が既に活用している。

「オンライン診療」により、治療を開始する人や継続する人が増えると思いますか？



「オンライン診療」の活用についての考え



(参考)

調査手法：Web 調査（一部紙面）

調査期間：2019年10月3日～10月24日

対象者：健康保険組合。

有効回答数：15人（13組合。内訳：健康保険組合規模（被保険者数）は10,000人以上30,000人未満が3組合、50,000人以上10,000人未満が6組合、5,000人未満が4組合）

掲載場所：公表なし。MICIN 社提供

D. 考察

1. オンライン診療自体そのものは慢性疾患等の治療の継続性を向上させ、疾患管理に有効的。
2. オンライン診療自体そのもののメリットは医師・患者双方とも患者の負担の軽減や、感染症対策に有効と認識
3. 感染症は、1年以内に健康診断を受けない人を増加させた可能性がある。
4. オンライン診療では対面と異なり手技がないため、不安を感じる方も一定いる。
5. 健康保険組合では、過半数がオンライン診療が治療開始・継続に資すると認識

E. 結論

上記に掲げた調査については、オンライン診療に関する調査が中心であるが、オンライン健診とオンライン診療では、健診・診療を受ける方の性質は異なるものの、できることとできないことがほぼ類似しているものと考えられ、上記の結果・考察はオンライン健診にも一定当てはめられるものと考えられる。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

1. 論文発表

特になし

2. 学会発表

第25回日本遠隔医療学会学術大会（2021年10月）

一般演題 B-6 オンライン診療2

B-6-2 医師向けオンライン診療の利用状況等に関する調査からの考察と提言（①オンライン診療に関する医師調査結果関係）

H. 知的財産権の出願・登録状況

（予定を含む。）

1. 特許取得

特になし

2. 実用新案登録

特になし

3. その他

知的財産権

- ① オンライン診療に関する医師調査結果：日本遠隔医療医学会・皮膚科遠隔医療分科会
- ② オンライン診療に関する患者調査結果：MICIN社
- ③ 子育て・就労世代の医療・ヘルスケアに関する意識調査：日本遠隔医療医学会・皮膚科遠隔医療分科会
- ④ オンライン診療に関する患者向け調査結果
- ⑤ 健康保険組合対象オンライン診療に関するアンケート調査結果